



図書館トピックス

館内での水分補給について

図書館内での水分補給は、ふた(キャップ)が使えるもののみお座席又は座ってご利用ください。場所の指定はありません。※お食事やお菓子等はご遠慮ください。



「大人の〇〇〇」を実施中

- 「大人の社会見学」図書館情報を説明しながら、館内を司書のご案内します。
「大人のブックセレクション」本に関するアンケートに答えると司書があなたのために選書します。
「大人の工作教室」11月の読書週間中に実施予定。

GWスペシャルおはなし会のご報告

GWスペシャルおはなし会をリレー開催し、子どもたちが料理やスイーツ作りに挑戦しました。



図書館イベントカレンダー

Table with 3 rows of event information: 6/8 (おはなし会), 6/9 (おはなし会), 6/13 (あかちゃんおはなし会)

休館情報

毎週月曜 図書館休館日
6/28(金) 月末整理日
(\*毎月最後の平日は整理日で休館)

司書のイチオシ

『ラザロの迷宮』

神永 学/著 新潮社

湖畔にある洋館を訪れた月島。殺人事件の犯人を当てる、脱出型の謎解きイベントに参加したが、男女8人の参加者たちが発見したのは、本物の死体だった。一方、所轄の刑事・紗和は、記憶を全て失い血塗れで保護された男の捜査に駆り出される。



洋館での事件と警察の捜査の2つの場面が同時進行しながら話が進みます。ラザロとは一体何なのか？騙されてください。

安岐図書館 古原 竜也

安岐中学校(1年生)のイチオシ

『5分後の思わず涙。』

桃戸 ハル 編/著 Gakken

累計90万部を突破の超人気シリーズの「涙」バージョン。嬉し泣き、悔し泣き、もらい涙、ほろっと涙、慟哭…。さまざまな形の涙の物語を新収録。ただし、涙だけでは終わらない。最後にぞっとする話など、全編、「意外な結末」を保証!



一つ一つの作品が短いので本を読むのが苦手な人でも読みやすいです。ぜひ読んでください。私は将来、小学校の先生になりたいです。

安岐中学校1年 古原 江梨花 さん

- 国見図書館 82-1585
くにさき図書館 72-3500
武蔵図書館 69-0946
安岐図書館 67-3551



見方をかえて、プラスの捉え方で

文責：社会教育課武蔵地区担当 櫻木 勝之

皆さんは、失敗したら、どんなことを思っていますか。
「気持ち切りかえてこの次頑張ろう」とプラスに考える人もいれば「また、やってしまった」「なんて自分はダメなんだろう」と落ち込んだり、やる気をなくしたりする人もいます。
また、相手に対して、決めつけた見方や考え方をしていると、先入観や偏見につながり、人間関係がうまくいかなくなる場合があります。
そういうときに、やる気を出させたり、人間関係を円滑にしたりする手法の一つが「リフレーミング」です。
「リフレーミング」とは、「物事の捉え方を変え、別の枠組みで捉え直すこと」をさします。
「枠組み(フレーム)」など「一方的な捉え方や見方を外して、プラスの捉え方や違う視点で見ると」という思考方法です。ネガティブな考えや短所・欠点として見えていることも、物事の捉え方を変えて考えることで、長所・利点として捉えられるようになります。
これによって、自分や相手のよさに気づき、自信を持ち次の意欲的な行動や相手のことをより理解しようとする気持ちにもつながることが出来ます。
例えば「うるさい」「わがまま」「頑固」「気が弱い」などのマイナスイメージの言葉は、違う視点から見れば、「活発・元気」「自己主張できる」「意志が強い」「やさしい」という言葉にそれぞれ言い換えることが出来ます。「物は言いよう」と言われるかもしれませんが、自分や相手を違う視点からプラスのイメージで見ることができ、自分や相手の良い面に気づくことができ、モチベーションの向上にもつながります。
また、日々感じている日常生活での不満や何気なく言われたひとことやささいな出来事からくるストレスを軽減するのに役立ちます。

「リフレーミング」は事実の解釈を変えるもので、事実の否定とは違います。
「物事は言いよう」と言われるかもしれませんが、自分や相手を違う視点からプラスのイメージで見ることができ、自分や相手の良い面に気づくことができ、モチベーションの向上にもつながります。
また、日々感じている日常生活での不満や何気なく言われたひとことやささいな出来事からくるストレスを軽減するのに役立ちます。



教育の里 あらかると

教育長就任のごあいさつ

『豊かな人間性を持ち、夢の実現に向けて自ら努力する国東の子どもたちに』



国東市教育長 岩光 一郎

このたび、5月19日付で教育長を拝命いたしました「岩光一郎」と申します。武蔵町の出身でこれまで42年間、公立学校や教育行政などを経験してまいりました。いろんな方々との出会いの中で多くのことを学ばせていただきましたが、今回教育長という職責の重さに、身の引き締まる思いがいたしています。

私は、教育で大切なことは、子どもの可能性を信じ、その子の持っているよさを引き出しながら、生きるために必要な資質・能力を育てることだと思っています。その上で、一人一人の違いを認め、多様性を尊重し合うことや対話を深めることが大切だと思っています。

国東市の学校教育は「豊かな人間性を育む学校教育」という目標を掲げ、人としての尊厳を大切に、よりよい社会を創るという教育の根幹を担ってきました。これは、全ての教育活動を推進する上での拠り所となるものと捉えています。

これから教育長として、これまでの国東市のよさを引き継ぎながら、時代の求めに応じられる「人づくり」を進めてまいりたいと考えています。次代を担う子どもたちが自分の希望する進路に進むことができるようにすることが教育に携わる者の職務であります。そのためには、基礎的な知識・技能を確実に身につけ、それらを活用することで探究する力を育てたいと考えています。また、自分のよさを理解し、目標の達成に向けチャレンジし続ける意志の強さやチャレンジし続けられる体力を育むことも重要であると考えています。

微力ではありますが、これまでの経験を活かしつつ、関係者の方々としっかり連携を図りながら誠心誠意、全力を尽くしてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。